

民間医療機関の「2025年における対応方針」に係る説明資料について

西部Ⅰ 医療圏		ページ
①	医療法人芳越会 ホウエツ病院	1
②	医療法人恵愛会 美馬リハビリテーション病院	2
③	医療法人藤野会 成田病院	3
④	医療法人桜樹会 桜木病院	4
⑤	医療法人峰寿会 岡内科病院	5
⑥	医療法人仁清会 永尾病院	6
⑦	医療法人一樹会 佐藤内科	7
⑧	市橋内科医院	8
⑨	医療法人芳越会 林クリニック	9
⑩	医療法人長寿会 秦眼科	10
西部Ⅱ 医療圏		
⑪	医療法人三野田中病院 三野田中病院	11
⑫	北條病院	12
⑬	医療法人静可会 三加茂田中病院	13
⑭	医療法人守章会 藤内整形外科病院	16
⑮	医療法人安宅循環器内科 安宅循環器内科	17
⑯	医療法人内田会 内田医院	18
⑰	医療法人宮佐医院 宮佐医院	19
⑱	医療法人村山内科 村山内科	20

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 芳越会 ホウエツ病院			
所在地	徳島県美馬市脇町大字脇町八幡神社下南130-3			
開設者	林 秀樹			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	65床			65床
(うち非稼働病床)	(0)	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	整形外科	脳神経外科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		43床	22床	
2025年		43床	22床	
主な病院機能	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中、心血管障害、各種術後 など超急性期を過ぎて状態が安定するも未だ医療が必要な段階からの受入れと充実したリハビリ、栄養状態改善の取り組み。 ・救急 二次救急対応 救命センター対応症例には救命処置や緊急検査を遅滞なく行い、救命センターとの連携のもとドクターヘリ等を使用し即応した搬送 ・災害 災害医療支援病院 DMAT、AMAT、JMAT、AMDAへの積極的な参加 			
自施設の現状	<p>二次救急病院として救急車の受入れに限らず、当法人の枠を超えた地域の医療、介護、在宅利用の方々を連携のもとで受入れ、対応後はもとの施設へ帰す努力をしています。もとの処が受入れ困難な場合は利用者やご家族が望み適応した施設へ送り出しています。</p>			
自施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・病床数不足 周囲に急性期対応の医療機関が少ない中、当方は65床と限られた病床数で二次救急に対応しており、当院が対応出来る状況でも満床で救急受入れを断らざるを得ない状態を多々生じています。 ・経済的支援が乏しい 救急、災害に対し他の自治体病院同様に不採算部門に取り組んでいるが、ほぼ診療報酬のみが収入である。 ・医師、看護師、介護士などあらゆる職種の人材不足。 			
地域において今後担う役割	<p>二次病院として医療内容を高め、24時間断らない体制の充実。 さらなる地域の多職種との連携。</p>			
今後の展望	<p>病院の建て直し。普段の救急から南海トラフ災害対応も考慮した構造。 可能ならば豪雨災害、浸水を考慮した安全な場所への移転。 不可能な場合は現在地での対応。</p>			

病院の機能・役割と今後について

病院名	美馬リハビリテーション病院			
所在地	徳島県美馬市美馬町字沼田75番地			
開設者	理事長 谷口 博美			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	60床			60床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	リハビリテーション科	整形外科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状			60床	
2025年			60床	
主な病院機能				
がん	緩和医療			
脳卒中	脳血管リハビリテーション料(Ⅱ)			
心血管疾患	再発予防の機能を有する医療機関			
糖尿病	—			
精神疾患	認知症患者の身体疾患治療のための入院受入(周辺症状)			
救急	—			
小児	—			
周産期	—			
災害	災害時に必要な食糧、医薬品等の物資を確保し、定期的な訓練を通じて災害対応力の向上に努めます			
へき地	—			
在宅	訪問リハビリテーション(介護保険)			
自施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○入院経路は、他病院からの紹介、自院外来からの入院、近隣診療所からの紹介となっている。 ○急性期病院で手術、または高度医療を受け、日常生活動作(ADL)が低下した患者さんの在宅復帰に向け、積極的にリハビリを実施している。 ○回復期機能を担う病院として、医療やリハビリテーションを提供している。 			
自施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の充足⇒施設基準の満たし、病床数60床を維持する ○回復期機能を担う病院として、急性期病院との連携、診療所との連携、在宅施設とのさらなる連携強化。医療・介護関係各所、介護、福祉施設等との連携を図る。 			
地域において今後担う役割	<ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者人口増加への対応。 ○積極的にリハビリテーションを実施し、自宅や施設に帰られるような回復期医療を提供していく。 			
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ○一般病棟(60床)回復期機能を継続する。 			

病院の機能・役割と今後について

病院名	成田病院			
所在地	徳島県美馬市脇町			
開設者	理事長 藤野 正晴			
許可病床数（床）	一般	医療療養	介護療養	合計
		46床	12床	58床
（うち非稼働病床）		(0)	(0)	(0)
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	外科	整形外科	
病床機能（床）	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状				58床
2025年				46床
主な病院機能				
がん	がん診療連携（徳島大学病院、徳島県立中央病院、三好病院）			
心血管疾患	循環器診療連携（徳島赤十字病院）			
糖尿病	糖尿病かかりつけ医機能病院			
精神疾患				
救急	救急告示病院			
小児				
周産期				
災害				
へき地				
在宅	在宅療養支援病院			
自施設の現状	<p>地域医療のかかりつけ医機能を担う病院として、急性期・回復期病院からの患者の受け入れに対応している。二次救急医療機関として急性期疾患の患者の受け入れ、高次医療機関への紹介や自院への入院（急性期患者を医療療養病床にて入院加療）等を行っている。また、慢性期患者の増悪時の看取り、癌末期患者の看取りを行っている。</p> <p>訪問診療や訪問看護、訪問リハビリサービスの提供、デイケアやグループホーム等介護サービスとの連携を行っている。</p>			
自施設の課題	<p>医師、看護師、介護職員等の高齢化や退職・市外流出等によるマンパワー不足職員の高齢化によりIT技術への対応が困難となっている。</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種等新たな業務負担により通常の業務の見直しに迫られている。</p>			
地域において今後担う役割	<p>美馬市には公的医療機関がないため、時には公的病院の役割を求められる。救急医療や感染症対策、予防検診の実施や在宅医療の促進等。</p> <p>急性期・回復期医療機関との密な連携、介護サービスの連携等地域医療を支えていく役割が求められる。</p>			
今後の展望	<p>急激な人口減少→患者数の減少により病床数や診療科目の見直し等に迫られることが予想されるが、その変化に対応していくマンパワーや資金調達等において一医療機関では限界があると考え。公的制度の運用で激変を緩和する措置が必要。</p> <p>令和6年度から介護療養病床12床を介護医療院に転換する予定。</p>			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 桜樹会 桜木病院			
所在地	徳島県美馬市脇町木ノ内3763番地			
開設者	理事長 桜木 章司			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	35床			35床
(うち非稼働病床)	0	()	()	0
主な診療科目	1	2	3	4
	精神科	心療内科	内科	
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状				35床
2025年				16床
主な病院機能				
精神疾患	精神療養病棟、認知症治療病棟において、精神科におけるコモンディゼーズ(統合失調症、気分障害、アルコール依存症等)や認知症の治療を行う			
糖尿病	専門外来や、一般病床における教育入院			
精神疾患の 身体合併症	一般病床において、認知症を含む精神疾患の身体合併症治療を行う			
自施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・当院が(単科)精神科病院であることを踏まえ、一般病床においては、認知症および精神科疾患を合併する急性期の治療ステージにある患者の診断、治療を行っている。 ・在宅療養中の高齢者(殊に認知症等を合併する)が適切に入院、治療できるよう体制を整えている。 ・一般病床における平均在院日数の基準を達成できず(106日)、特別入院基本料を算定していた。 			
自施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症、高齢者においては、自立を傷害し要介護とする疾患が多いが、一般病床においては、病床の性格上、慢性期治療ステージにある患者や長期にわたる療養を必要とする患者を受け入れにくい。 ・地域医師会などと連携しながら、(単科)精神科病院の特性を生かし、認知症を合併する高齢者医療などの領域で役割分担する。 			
地域において今後担う 役割	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築において、当院の特性を生かした役割を果たす。当院が(単科)精神科病院であり、認知症疾患医療センターである特質を生かし、認知症などを合併する高齢者疾患(身体疾患)に注力する。 ・介護医療院を併設することによって、“看取り”の患者も受け入れ可能とする。 			
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年から一般病床35床を16床に減じ、19床を介護医療院に転換する。 			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人峰寿会 岡内科病院			
所在地	徳島県美馬市脇町字拝原1496番地5			
開設者	理事長 岡 芳剛			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
		30床		30床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状				30床
2025年				30床
主な病院機能				
在宅	在宅療養支援 支援病院3			
内科一般				
小児				
デイケア				
自施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・療養病床を中心とした一般かかりつけ ・在宅療養も行っている。 ・在宅療養中の高齢者が体調を崩した時に必要に応じてスムーズに入院が出来るような体制を図っている。 			
自施設の課題	地域医療を支える役割を担う為に、かかりつけの看者様達のニーズにこたえられる体制を強化する。			
地域において今後担う役割	予防検診や予防接種			
今後の展望	現状維持目標			

病院の機能・役割と今後について

病院名	佐藤内科			
所在地	徳島県美馬市			
開設者	佐藤一樹			
許可病床数(床) (うち非稼働病床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床 ()	()	()	19床 ()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	小児科	精神科	
病床機能(床) 現状 2025年	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
				19床 19床
主な病院機能				
内科一般診療 精神科 小児科 在宅	プライマリーケア、癌の早期発見、糖尿病、高血圧症など生活習慣病の改善 うつ病、パニック障害、統合失調症、 小児科全般 在宅療養支援診療所			
自施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナの診療・検査医療機関としてかかりつけ患者以外にも積極的に受け入れている。 ○内科的救急患者等の受入を始め、1次救急を担う診療所として医療を提供。 ○在宅療養中の高齢者が体調を崩したときに、必要に応じてスムーズに入院ができるよう体制整備。病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能 終末医療を担う機能 			
自施設の課題	○人口減少に伴う患者と職員の減少			
地域において今後担う役割	○在宅医療・介護の充実 学校検診や予防接種 COVID即応病床の提供など			
今後の展望	○人口減少、医療ニーズの減少を見据えた新たな医療・介護リソースの提供			

病院の機能・役割と今後について

病院名	市橋内科医院			
所在地	美馬市脇町大字脇町725番地2			
開設者	市橋 俊文			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床			19床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	精神科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状				19床
2025年				19床
主な病院機能	<p>1. かかりつけ医機能 地域に密着した身近な医療を提供する。</p> <p>2. 地域の保健・福祉サービス(民生部門)に寄与する</p> <p>① 学校医・産業医・警察医として医院から出務する。これは、ほぼボランティア活動である。(ただし無償ではない)(在宅当番医も参加している)</p> <p>② その他、予防接種活動・介護保険認定業務・主治医意見書作成業務・そして私の場合だと精神保健指定医として、自立支援医療認定審査会にも出務している。</p> <p>③ 地域の職場の健康診断・生活保護意見書・鉄砲所持診断書・交通事故診断書・公安委員会照会診断書・生命保険診査など、いろいろな診断書・意見書・証明書の作成をおこなっている。このような各書類は、主に地域の身近な開業医師が作成している。もし身近な開業医がいないと、遠くの医療機関に出向いていかなければならない。そうすると住民サービスが低下して住むのに不便となって、ますます人口が減少することになります。</p> <p>④ 地域の個人開業医は公的医療機関の医師がおこなわない民生部門において、明治時代以来、行政サービスの一端をになう役割をしています。そのため、開業医師は診療の他にも、忙しいものであります。こうした点が今回の調査票に一言もふれられていないことは誠に残念です。こうした個人開業医の役割をどう位置づけ、どう評価するかも教えていただきたいと思います。</p> <p>⑤ 医療機関は地域の正規雇用の場の確保にも貢献し、地域の安定に寄与しています。</p> <p>⑥ 以上、今回の調査票の趣旨とは離れているかもしれませんが、診療所の機能のひとつとして大切なもので付記しました。</p>			
自施設の現状	完璧にできているとは思わないが上記の医院の機能を誠実におこなっている。			
自施設の課題	<p>① 当職(70歳)の高齢化とそれともなって医院承継問題。</p> <p>② 人口減少の中での経営難</p>			
地域において今後担う役割	近年、個人開業医が閉院する中で上記の役割を補充していく。			
今後の展望	ますます人口減少がすすむと、さらに個人開業医は閉院せざるをえない状況であるので数年先に当院の将来について検討する。 行政の立場から個人開業医の存続と適切な配置に向けて対策をとっていただきたい。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 芳越会 林クリニック			
所在地	徳島県美馬市脇町大字脇町340番地			
開設者	林 秀樹			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	1床	18床		19床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	リハビリテーション科		
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
	現状 2025年		19床 19床	
主な病院機能				
がん	終末期、看取りを行う 麻薬使用可			
脳卒中	リハビリテーション 慢性期(胃ろう栄養、人工呼吸器可)			
心血管疾患	リハビリテーション ASV実施			
糖尿病	教育入院可 インスリンコントロール等			
神経難病	リハビリテーション 慢性期			
その他	輸血実施可 在宅訪問患者悪化時の受入(軽～中等症まで)			
在宅	在宅療養支援診療所 末期癌看取り可(在宅・入院ともに可)			
	訪問リハビリテーション			
自施設の現状	入院は医療的な問題で自宅復帰不能、施設入所不能な患者やリハビリテーションが必要な患者に対応している。摂食障害のリハビリテーションも行っている。外来はリハビリテーションが必要な患者が多い。午後からは在宅医療を行っている。			
自施設の課題	BCPの対応マニュアルを準備中。スタッフの育成と世代交代の為の準備。 在宅復帰患者を増やす。			
地域において今後担う役割	慢性期医療が必要な患者の受皿として、また施設入所前や在宅復帰前の状態安定化の為の入院を担う。在宅医療を行うにあたって、介護・福祉サービスとの連携を図る。訪問患者状態悪化や家人の為のレスパイト入院の実施。			
今後の展望	林クリニックは医療⇄介護、入院⇄在宅の機能を持ち、地域包括システム構築・地域共生社会の実現において、今後も地域の期待に応え続けていきたいと考えている。有事においても、その役割を継続できるように、また、万一、中断せざるをえない状況になった場合でも、法人内連携により、早期復旧を目指す。また、常時周囲の医療・介護福祉機関や行政と連携をしていく。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	秦眼科			
所在地	徳島県美馬市脇町字拝原1441-1			
開設者	医療法人 長寿会 理事長 秦聡			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	5床			5床
(うち非稼働病床)	0床	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	眼科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状		5床		
2025年		5床		
主な病院機能				
眼科	周術期の加療、経過観察			
自施設の現状	独居、へき地、唯一眼などの事情で外来手術による加療が受けられない場合、必要に応じて入院の上、手術加療が受けられるよう体制整備を図っている			
自施設の課題	看護師の高齢化に伴い長期入院は困難となっている			
地域において今後担う役割	高齢化の進む地域において、独居、唯一眼などの為、通院困難な方に対しても眼科医療を提供できるよう可能な限り努める			
今後の展望	引き続き地域医療における眼科医療提供の役割を担う			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 三野田中病院			
所在地	徳島県三好市三野町芝生1242-6			
開設者	田中 健			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	99床			99床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科整形リハ眼科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状			地域包括ケア39床	障害者施設等60床
2025年			地域包括ケア39床 ※将来的に増床を検討	障害者施設等60床 ※将来的に減少を検討
主な病院機能				
がん	がん連携・看取り・終末期医療			
在宅	在宅療養支援病院・在宅看取り			
脳卒中・心血管疾患	リハビリ			
糖尿病	教育入院・専門外来・予防・栄養指導・合併症対応			
腎臓疾患	予防・専門外来			
認知症	専門外来			
救急	輪番制			
僻地	訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ			
整形疾患	リハビリ(外来・入院・訪問)			
神経難病	リハビリ・レスパイト入院			
健康増進 健診予防	健診・疾病予防施設			
自施設の現状	在宅や施設で療養している高齢者の入院や整形外科、外科、血管外科の術後や急性期を脱した患者がリハビリを目的に転院している。また悪性腫瘍などの看取りなども実施。短期滞在入院、レスパイト入院の受け入れ。			
自施設の課題	コロナ禍において自院でできることが限られている。高齢化。人材不足			
地域において今後担う役割	地域包括ケアを維持して地域で安心した生活を送れるようなサービスの提供			
今後の展望	人員に合わせて院内病床数を調整して地域医療ニーズに対応する			

病院の機能・役割と今後について

病院名	北條病院			
所在地	徳島県三好市池田町マチ2526-7			
開設者	北條文彦			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
		34床	26床	60床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	呼吸器内科	胃腸内科	小児科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状				60床
2025年				34床
主な病院機能				
自施設の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病院及び在宅からの患者の受入を始め、慢性期機能を担う病院として医療を提供。 ・医療保険及び介護保険でのリハビリを提供。 ・関連法人で、介護保険の居宅介護支援事業及び認知症対応型共同生活介護事業を提供。 			
自施設の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区医師会等との連携をより一層強化し、地域の病院、診療所との役割分担を担う。 			
地域において今後担う役割	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着促進、在宅支援機能の強化 			
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月から介護療養病床(26床)を介護医療院に転換する。 			

病院の機能・役割と今後について

病院名	三加茂田中病院			
所在地	徳島県三好郡東みよし町加茂1883番地4			
開設者	医療法人 静可会 理事長 田中 勉			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
		99床		99床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
診療科名	内科・外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・糖尿病内科・神経内科・脳神経外科・眼科・放射線科・リハビリテーション科・循環器内科・呼吸器内科・呼吸器外科・乳腺外科・耳鼻咽喉科・腎臓内科・消化器内科			
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状			42床	57床
2025年			42床	57床
主な病院機能				
<p>○プライマリーケアを行う病院であるが、四国4県の各、国立大学病院より各科専門医が来院し診療を行っている病院。 (徳島大学＝腎臓内科)・(高知大学＝耳鼻咽喉科:皮膚科)・(愛媛大学＝眼科)・ (香川大学＝泌尿器科:神経内科:消化器内科:整形外科:循環器内科:放射線科)等。 他、民間病院より、糖尿病専門医(毎週土曜日):乳腺外科専門医(隔週日曜日)</p> <p>○プライマリーケアを行いながら四国の各、国立大学付属病院より専門医を招聘し専門診療を行っている病院です。 そのため、患者に緊急の事態が起こったり専門的な治療が必要になったりした時は直ちに、最適の専門医の居る近隣病院(県立三好病院・県立中央病院・徳島大学付属病院・日赤小松島病院)等に紹介しております。</p>				
自施設の現状	<p>○救急告知病院として受け入れ可能な救急搬送患者を月、10件前後収容しています。脳出血・急性心筋梗塞等の緊急的な救急対応は出来ませんが、当院の、かかりつけ患者の(救急)急変時等に対応し、必要に応じて入院加療が出来る体制を整備しております。</p> <p>○又、三好市医師会で取り組んでおります夜間当番(17:00～23:00)及び休日当番(9:00～23:00)においては、添付しておりますように(2023年2月分・医療当番表 参照。)出来る限り、地域医療に積極的に協力いたしております。</p> <p>○当院は、地域の(かかりつけ患者)が中心で在宅療養中に体調を崩し外来受診に来られた際、その病状により必要に応じて入院加療が出来る体制を整えております。</p>			
自施設の課題	<p>○入院患者に関しては、県立三好病院の受け皿の役目を担う病院として、特に近年、リハビリ人材の充実(PT:11名)(OT:4名)(ST:2名)に力を注いできましたが、昨年、常勤の整形外科医が退職し、リハビリ人材は十分な対応準備が出来ているにも拘らず肝心の常勤整形外科医が確保出来ず地域の当該患者のニーズに応えられていません。</p> <p>○各方面に整形外科の常勤医確保をお願いしている所ですが容易ではありません。現在、当院にとりましては最重要の課題となっております。</p> <p>○リハビリの人材が充実、確保できていることを考えれば、常勤の整形外科医さえ確保できれば、この分野において、もっと地域に貢献でき、各医療機関、各関連施設との連携も充実すると考えるのですが……</p>			

<p>地域において今後担う役割</p>	<p>○医療後継者不足による当地域の医療施設の減少により、 当院の地域における役割は益々重要になってきていると考えています。</p> <p>○そういった現状において、地域包括ケアシステムの構築に向けて 当院が率先して地域医療連携の推進に取り組み医療施設・介護施設・ 福祉施設等と連携を深めていくことが益々重要と考えております。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>○当院は、令和元年6月30日までは、 (医療療養病床入院医療管理料(1):192床)を有する病院であった。</p> <p>然し、地域医療計画では、徳島県下においては許可病床数の過剰地域と される(特に療養病床)県西部の医療機関として突出した病床数を有する 病院であるため、それまでの(医療療養入院基本料(1):192床)を先ず、 令和元年7月1日～医療療養病床49床を(介護医療院:48床)に転換 (1床は県に返還)減床。</p> <p>次いで1年後の令和2年7月1日～医療療養病床34床を減床。 更に令和4年10月1日～医療療養病床10床を減床した。</p> <p>令和元年6月30日現在、医療療養入院基本料(1):192 床 令和元年7月1日 現在、医療療養入院基本料(1):143 床(49減床) 令和2年7月1日 現在、医療療養入院基本料(1):109 床(34減床) 令和4年10月1日現在、医療療養入院基本料(1):99 床(10減床)</p> <p>○国・県の推し進める地域医療計画において、この約3年半の間に約100床の ベッド削減を行ったことは医療計画に資するものと考えます。 又この期間(令和元年7月1日～令和4年10月1日)に、 地域包括ケア入院医療管理料の施設基準を取得し、 病床数は多少の変動がありましたが、現在42床で稼動しております。</p> <p>○ 今後については、 ① 県立三好病院の入院患者の受け皿の医療機関としての役割。 ② 当地域住民の「かかりつけ医」としての役割。 ③ 地域包括ケアシステム推進を積極的に推し進める地域の病院としての役割。 等、と考えております。</p>
<p>今後の展望 (医療従事者:特に看護 師、介護職員不足の 問題。)</p>	<p>○当地域、県西部に限った問題ではないと思いますが、最大の課題は、 医療従事者確保の問題です。特に看護師及び介護職員の高齢化に伴う 雇用の問題は非常に深刻な状況にあります。</p> <p>○当院の看護師及び准看護師の年齢層にしても、その半数以上は、 50歳以上という状況です。</p> <p>○地元、三好准看護学院も、ここ数年、ずっと定員割れの状況が続いており、 県西部の看護師不足は当地域の全ての医療機関の存続を脅かす問題と なっております。</p> <p>○これは、県・地域が一体となって、最優先の問題として、考え取り組むべき 非常に重要な問題であると考えます。</p>

2023年2月分 医療当番表

三好市医師会
2022/12/1

日 曜	夜間当番 (17:00 ~ 23:00)			休日当番 (9:00 ~ 23:00)		
	医療機関名	住 所	Tel	医療機関名	住 所	Tel
1日 水	内田(伸)医院	三好市池田町中西ナガウチ254-3	74-0121			
2日 木	三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700			
3日 金	田岡医院	三好市池田町シマ934-6	72-5551			
4日 土	三野田中病院	三好市三野町芝生1242-6	77-2300			
5日 日				三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700
6日 月	山城診療所	三好市山城町下川545-5	86-3230			
7日 火	岸野医院	三好市三野町芝生136-1	77-2001			
8日 水	郷外科内科	三好市池田町川崎宮ノ前123-1	74-5779			
9日 木	三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700			
10日 金	安宅循環器内科	三好市池田町サラダ1651-2	72-6300			
11日 土				三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700
12日 日				藤内整形外科病院	三好郡東みよし町中庄1011-3	82-3677
13日 月	村山内科	三好市池田町サラダ1795-1	72-2110			
14日 火	くはらクリニック	三好郡東みよし町昼間148	76-5755			
15日 水	松浦医院	三好郡東みよし町中庄28	82-2309			
16日 木	三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700			
17日 金	三木医院	三好市三野町芝生1027	77-3900			
18日 土	三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700			
19日 日				三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700
20日 月	山下医院	三好郡東みよし町昼間3656	79-2005			
21日 火	浜クリニック	三好市池田町マチ2443-1	72-0667			
22日 水	大和外科医院	三好市池田町マチ2524-2	72-0828			
23日 木				三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700
24日 金	内田医院	三好郡東みよし町加茂1803-9	82-2035			
25日 土	北條病院	三好市池田町マチ2526-7	72-0007			
26日 日				三加茂田中病院	三好郡東みよし町加茂1883-4	82-3700
27日 月	三野田中病院	三好市三野町芝生1242-6	77-2300			
28日 火	北條病院	三好市池田町マチ2526-7	72-0007			

病院の機能・役割と今後について

病院名	藤内整形外科病院			
所在地	徳島県三好郡東みよし町中庄1011番地の3			
開設者	藤内守			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
		50床		
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	整形外科	リウマチ科	リハビリテーション科	内科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状				50床
2025年				50床
主な病院機能				
救急	救急輪番病院			
自施設の現状	<p>○救急患者等の受け入れもしつつ地域のかかりつけ医として在宅患者の急変時の受け入れもスムーズに出来るよう体制整備を図っている。</p> <p>○身近なかかりつけ医として必要に応じて大病院などに紹介し、スムーズに診察が受けれるようサポートしている。</p>			
自施設の課題	<p>○質の高い医療を提供するために医療従事者の負担軽減・人材確保及び教育研修の充実。</p> <p>○地域医療を支える役割を担うためにも地区医師会等との連携をより一層強化する。</p>			
地域において今後担う役割	<p>○地域の介護・福祉施設とも連携を図り、在宅患者の急変時に積極的に受け入れし、リハビリテーション、食事、療養、投薬などで回復を促し、施設入所又は在宅復帰できるように当院が率先して取り組む。</p>			
今後の展望	<p>○現時点では療養病棟入院基本料2 50床を転換する予定はない。</p>			

病院の機能・役割と今後について

病院名	安宅循環器内科			
所在地	徳島県三好市池田町サラダ1651-2			
開設者	医療法人安宅循環器内科理事長 安宅 比呂美			
許可病床数(床) (うち非稼働病床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床 (19床)	()	()	19床 (19床)
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	循環器内科	リハビリテーション	呼吸器科
病床機能(床) 現状 2025年	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
主な病院機能				
自施設の現状	現在ベッドは休床中です。			
自施設の課題				
地域において今後担う役割	地域包括ケアシステムのなかで、地域医療連携に取り組み、介護・福祉施設等とも連携を図っていきたい。			
今後の展望	今後、休床ベッドについて決定する予定です。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	医療法人 宮佐医院			
所在地	徳島県三好市池田町マチ2478番地1			
開設者	宮佐 浩司			
許可病床数(床) (うち非稼働病床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	19床			19床
	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	心療内科	神経内科	リハビリテーション科
病床機能(床) 現状 2025年	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
			19床	
			19床	
主な病院機能				
脳卒中	リハビリテーション			
糖尿病	教育入院 栄養指導			
がん	疼痛管理 ターミナルケア			
在宅	往診可能			
心血管疾患	慢性期リハビリ 在宅酸素導入			
自施設の現状	在宅療養中の高齢者が体調を崩した時に必要に応じスムーズに入院ができるよう体制整備を図っている。基幹病院の後方支援。			
自施設の課題	地域医師会等との連携をより一層強化し、地域の病院、診療所との役割分担を担う。			
地域において今後担う役割	地域密着促進、高齢者等幅広いニーズへの対応、予防検診の強化、在宅支援機能の強化を図る。			
今後の展望	地域医療連携の推進に取り組み、介護・福祉施設等とも連携を図る。			

病院の機能・役割と今後について

病院名	村山内科			
所在地	徳島県三好市池田町サラダ1795番地1			
開設者	医療法人村山内科 理事長 村山善紀			
許可病床数(床)	一般	医療療養	介護療養	合計
	3床			3床
(うち非稼働病床)	()	()	()	()
主な診療科目	1	2	3	4
	内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科
病床機能(床)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
現状			3床	
2025年			3床	
主な病院機能				
在宅	○在宅支援診療所			
かかりつけ医	○プライマリケア医として地域のニーズに合わせた診療を行う。 ○健康相談、健診、学校保健、産業保健、地域保健等の地域における医療、社会活動、行政活動に参加するとともに、保健・介護・福祉関係者との連携を行う。			
自施設の現状	○在宅療養中の高齢者が体調を崩した時に、必要に応じて入院ができるよう体制整備を図っている。 ○かかりつけ患者が急変時の時は、急性期機能を担う病院との連携を図り紹介する。 ○急性期病院で症状が落ち着いたら、当院で治療を継続する。 ○法人内の事業所として居宅介護支援事業所、通所介護、認知症対応型共同生活介護、介護医療院を備えている			
自施設の課題	○医療や介護を担うスタッフの不足 ○地域全体との連携をより一層強化する。			
地域において今後担う役割	○安心して自立した生活が送れるよう支援する。 ○看取りも含めた在宅医療を推進する。 ○診療所を中心に医療と介護の連携を図り、小規模多機能で在宅での生活が継続できるように支援する。			
今後の展望	○地域医療ニーズの変化に対応する。			